

2010年12月31日(金曜日)

県政この1年 2010年

平成22年の県政の動きを、マニフェスト「福井新元気宣言」の4つのビジョン「元気な社会」、「元気な産業」、「元気な県土」、「元気な県政」に沿って紹介します。

元気な社会

未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化

福井っ子によりよい教育を

小中学校で独自の少人数指導を導入し、子どもたちにきめ細かい教育を行っています。さらに、分かりやすく教える「授業名人」の公開授業等を通じて、教員の指導力強化も進めています。



文部科学省の全国学力テストで本県の小中学生が4年連続で全国トップクラスの成績をおさめています。また、全国体力テストでも、小中学生ともに全国1位という成績をおさめています。



小学校では白川文字学を取り入れた分かりやすい授業を実施

「南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞」を創設！

「南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞」を創設し、理科や数学に対する関心を高めています。また、来年1月8～12日には、小惑星探査機「はやぶさ」のカプセル等を展示し、科学技術や宇宙に対する興味や関心を高めます。

英語コミュニケーション能力を向上！

英語だけで外国語指導助手(ALT)や留学生と一緒に過ごす「高校生英語キャンプ」を初めて開催するなど、英語コミュニケーション能力をさらに高めています。また、今年新たに英語科教員向けの「英語集中セミナー」も開催するなど、先生の指導力も強化しています。



ALTとの活動や友達との会話もすべて英語

いつでも身近に福井の文化を

独自の「白川文字学」を確立した本県出身の白川静博士の生誕100年を記念し、漢字をテーマとするフォーラム等を開催。また、県立音楽堂などの文化施設や学校で、子どもたちが一流の音楽や文化を体験する機会を提供し、豊かな感性や人間性を育てています。

国体に向け準備を本格化

「第73回国民体育大会福井県準備委員会」を8月に設立し、平成30年の福井国体に向けた準備を進めています。皆さんの健康増進やスポーツ振興につながる国体を目指します。

日本一の子育て応援

日本一の子育て応援システムをさらに充実

医療費助成の拡充や放課後子どもクラブの受入れ拡大など、元気で力強い子どもの育ちを応援しています。また、父親の育児参加の促進や、仕事と子育てを両立できる職場環境の整備も進めています。

このほか、「地域の縁結びさん」による縁結び活動の応援など、ライフステージに応じた施策を展開しています。



全国に先駆けて導入した「子育てマイスター」が育児の疑問や悩みをサポート

イキイキ・長生き「健康長寿」

がん予防・治療日本一を目指して

全国で初めてがん個別検診の受診料や受診券を統一し、希望する医療機関や受診時間を選べるようにしました。

また、来年3月の「陽子線がん治療センター」の治療開始に向け、全国で最も低い料金設定や、治療費の軽減、嶺南地域からの交通費助成など、治療を受けやすい環境を整備しています。

地域医療体制を強化

「精神科救急情報センター」を6月に開設し、24時間体制で相談に応じています。また、夜間や休日に開業医が小児軽症患者を診察する「こども急患センター」の来春開設に向けた準備も進めています。



がん検診の受診率50%を目指し利便性を向上

みんなの手によるあたたか福祉

介護の人材確保を目指して

高校生向けの職場体験教室や、身近な場所での就職面接会、有資格者の再就業に向けた学び直し研修会などを開催し、介護分野での人材確保や職場定着を進めています。

日本一の安全・安心をめざして

子どもと女性を守るまちづくりの推進

住民や学校、行政が一体となり、パトロールや見守り活動などを行う「子ども安心県民作戦」を展開し、子どもたちを交通事故や不審者から守っています。

また、人通りのない場所等での住民による重点パトロールなど、女性を守る安全確保活動に力を入れ、安全・安心なまちづくりを進めています。

元気な産業

地域を支え世界に広がる福井の産業

経済・雇用対策を展開

● 雇用対策

雇用基金の活用や職業訓練の拡充により離職者の雇用機会を創出しています。また、県独自の助成金により、雇用を守る事業主を応援しています。さらに、若者向けの就職面接会の開催や、就業体験機会の提供のほか、高校には就職支援コーディネーターを配置し、若者の就職を支援しています。

● 中小企業支援

セーフティネット資金の融資枠を拡大し、中小企業の資金繰りを支援しています。

また、有識者による「県経済新戦略検討会議」での議論も踏まえながら、成長が期待されるアジア市場での販路開拓や、環境、エネルギー分野などでの新世代技術開発を支援しています。

このほか、飲食店や旅館による伝統的工芸品の積極的な活用を応援しています。



緊急就職面接会を開催し学生等の就職を応援

ふるさと商品券で7億円を超える消費拡大！

プレミアム付きの「ふるさと商品券」を商工会議所等と連携して発行。これに合わせ、県内各地で消費拡大イベントが行われ、にぎわい創出につながりました。また、年末以降に各地で新たに行われる「ふるさと市場」等の開催も支援しています。



プレミアム付きのふるさと商品券は大人気

「ほんもののふるさと」を体感する観光を

観光地や食だけでなく、暮らしや文化を含めた資源を活用した観光地づくりを進めています。

また、教育旅行の誘致や東アジア圏の旅行会社への働きかけなど、ターゲットを絞った誘客も促進。大都市での物産展や「福井の食」をデザインしたラッピング電車の運行など、福井の魅力をPRする活動にも力を入れています。

力強いプライドの農林水産業

食育・地産地消を推進！

魚のさばき方教室などの食育活動を「ふくい食育ボランティア」を中心に開催。10月には女子栄養大学と提携協定を締結するなど、全国に「食育先進県・福井」を発信しています。

また、未活用の野菜を直売所等で販売する体制づくりや、給食や病院などに地産産食材を供給するルートづくりなど、地産地消にも力を入れています。「伝統の福井野菜」についても、生産拡大やブランド化を目指しています。



従来の「福井米100パーセント給食」に加え、今年から給食で旬の地魚を提供する活動をスタート。地産産食材を10品目以上使用する目標を、初めて全小中学校で達成しました。

鳥獣害のない里づくりを

イノシシやシカ、サルなどの有害獣が出没しにくい山ぎわ緩衝帯や、新たに開発した安価で耐久性が高いネット柵の整備を支援。また、集落ごとの被害対策マップ作成やリーダー育成、市町の駆除活動への支援など、被害減少を実感できる里づくりを進めています。

漁業・林業の活性化を

地魚の鮮度や品質の向上、販売力の強化、水産加工品の開発を応援し、安心・安全な水産物の提供を目指しています。

また、集落ぐるみの効率的な木材生産や県産材による家づくりの支援など、林業の活性化を促進しています。

福井米の競争力強化

「五月半ばの適期田植え」の本格導入により米の品質向上を推進。集落営農組織や認定農業者による大粒化技術の導入も支援しています。また、全国に先駆け水稻農家のエコファーマー化を進め、消費者等に環境へのやさしさをアピールし、福井米の販売を促進しています。

元気な県土

高速交通時代のにぎわい交流まちづくり

高速交通ネットワークの整備促進

北陸新幹線の早期認可・着工や、中部縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道の早期開通に向け、沿線市町等と連携して国や関係機関に強く働きかけています。

敦賀港の新ターミナルが完成！

8月に敦賀港が国の重点港湾に選定。10月には鞠山南地区の多目的国際ターミナルが完成しました。今後も新規航路誘致やポートセールスに力を入れます。



平成26年度の全線開通に向けて着々と工事が進む舞鶴若狭自動車道。来年夏に予定される小浜ICまでの開通を機に、さらなる誘客促進や地域振興につなげていきます。

元気な県政

県政のレベルアップ

新しい地方連携スタイルを創出

本県の呼びかけにより、青森、山形、奈良、島根、高知、熊本など11県で、「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」を発足。地方同士が「ローカル・アンド・ローカル」でつながり、「地方知」を結集して、新しい地方自治のモデルづくりを進めています。

また、「福井・石川県境サミット」を9月に開催。県境を越えた一体的な圏域を形成し、官民共同で旅行商品を開発するなど、観光を核とした地域活性化を目指しています。



「ふるさと知事ネットワーク」では、参加各県の農産物直売所で相互に特産の農水産物を販売する活動も実施。直売所のにぎわい創出と県産品の知名度アップにつながっています。



山形県のサクランボをきっかけに大いににぎわう県内の直売所

ふるさと集落の元気再生を応援！

食料品等の移動販売や、乗り合い車を運行する住民活動などを応援。中山間地でも安心して暮らすことのできる環境づくりを進めています。

また、住民の課題解決をサポートする「集落支援員」や、集落行事等を手伝う「地域おこし協力隊」を活用する市町を支援しています。

夢と誇りのふるさとづくり

みんなで福井の環境を守り育てよう

三方五湖や北潟湖の自然再生に向けた研究や水質浄化活動を大学や市町、住民等と連携して進めています。また、コウノトリを福井の自然再生のシンボルと位置付け、来年度の放鳥、定着を目指して、えさ場整備を支援するなど、生きものと人間双方に良好な田園環境づくりを推進しています。

APECエネルギー大臣会合を開催！

APECエネルギー大臣会合が6月に福井市で開催され、「福井宣言」を採択。各国参加者やメディア関係者に、食や特産品、観光地などの「福井ブランド」をアピールするなど、世界に「FUKUI」を発信しました。会合に先立ち中学生によるAPECジュニアフォーラムや、高校での参加国大使リレー講演会を開催しました。

今後は、「福井宣言」の目指す低炭素のまちづくりや、原子力やエネルギー分野での国際的な人材育成と研究開発の拠点化を進めます。APECエネルギー大臣会合を開催！



会合では熱心な議論が行われ「福井宣言」を採択



福井の中学生がジュニアフォーラムの成果を英語で提言

「恐竜王国ふくい」がパワーアップ

県立恐竜博物館が開館10周年を迎え、常設展のリニューアルとともに特別展を開催。恐竜エキスポ後、過去最多となった昨年度の入館者数をすでに大きく上回っています。また、大都市での出張展示も開催するなど、「恐竜王国ふくい」を全国にアピールしています。



さらに魅力が高まった恐竜博物館

「お江」ゆかりの福井を発信

来年1月からの大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の放送を機に、滋賀県、岐阜県、三重県と連携してゆかりの地や福井の歴史、文化、食などを全国に発信しています。また、観光スポットに歴史案内板や遊歩道を整備し、魅力を高めています。



大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」
福井県推進協議会のキャラクター

 BACK